

**校訓**

明 信 覇  
朗 念 気



第10号

発行 県立富士宮北高等学校同窓会  
北嶺会  
静岡県富士宮市大宮2300(北高内)  
電話(0544)27-2533(代)

編集 北嶺会広報部  
部長 井出元一

創立者 望月軍四郎先生之像



財は集めるよりも之をよく散ずるは更に難い

望月氏は教育の為に富を最もよく散じた人である

昭和十二年氏の創立による富士宮実業高等学校の県立移管に

當って有志相謀りてその像を建て以て永く遺徳を偲ぶ

昭和廿八年四月

富士宮市長 小室鶴松

### 私の部活観

学校長 宇佐美雄司

四月の入学以来、半年に  
なると、母校北高生の体位、  
体力は、見違えるように充  
実したのようになってまいり  
ました。  
それとともに、マナーも  
北高生らしく、すこやかに  
成長してきて心強い限りで  
あります。  
十代のこの時期は、春の  
たけのこの如く、すくすく  
と伸びるものであります。  
このとき先輩諸兄が、當々  
として築いて来られた日本  
一の広大な学園で、勉強に  
部活に専念できる、今の北

高生はまことに幸福者であ  
ります。  
特に私は、厳しい充実し  
た部活によって作られた体  
力・気力・協調性は、人の  
一生を通じて、他の何物に  
も代え難い大きな資産であ  
ると信じております。  
私が部活を最重視する理  
由であります。他校との対  
抗試合においては、野球、  
相撲、陸上、柔道、剣道、  
バドミントン、テニス、バ  
レー、バスケット、弓道、  
卓球、水泳、サッカー等、  
「静岡県に北高あり」との  
訓に外ならないからであり

### 決断と実行

北嶺会副会長 菊地千秋  
花園製紙社長(第一回卒)



厳しい対応  
ありふれた「タイトル」  
で誠に恐縮ですが、私達中  
小企業の経営者として「決  
断と実行」なくして会社の  
存続は難しい時代だと思  
い、所感の一端を記したた  
てみました。  
さて世界的な不況の中で  
日本の経済界も例外でな  
く、大変厳しい対応に迫ら  
れている事は衆知の通りで

戦斗ヲ以テ基準トスベシ。  
而シテ戦闘一般ノ目的ハ、  
敵ヲ圧倒シテ迅速ニ戦捷ヲ  
獲得スルニ在リ」という語  
のなかの「戦斗」という語  
を利益追求という言葉に置  
きかえてみると「経営ノ主  
トストコロハ利益追求ヲ  
以テ基準トスベシ」という  
ことになる。事業において  
は、どんなにささいな事でも  
すべて収益を左右するもの  
であります。  
一、「凡ソ兵事ノ事タル独断  
ヲ要スルモノ頗ル多シ。而  
シテ独断ハ其ノ精神ニ於テ  
ハ決シテ服従ト相反スル  
モノニ非ズ。常ニ上官ノ意  
図ヲ明察シ大局ヲ判断シテ  
状況ノ変化ニ応ジ、自ら其  
ノ目的ヲ達シ得ベキ最良ノ  
方法ヲ選ビ、以テ機宜ヲ制  
セザルベカラズ。」  
多数の意見を伺いながら  
これら多数人の最大公約数  
の意見に基づいて処置する  
の意見が、むしろ遅きに失  
いたとはいえ、その活躍を  
期待しております。  
「報恩感謝」の望月氏の  
遺訓は人の生きざまの根底  
を教えていると思えます。  
これをもとに人材育成と明  
日の社会奉仕を目指すこと  
は、北高とPTA並びにOB  
の三者一体で推し進めな  
ければ達成出来ません。地  
元である富士宮支部組織の  
活性化を望む所以はここに  
あるわけです。  
私共PTAとしては、学  
校教育の協力をPTA会員  
同志の親睦と資質を高めて  
いくわけですが、なんと  
いっても同窓会の活動が大  
きく会員の誇りにも影響す  
る処が大きく、両者は正に  
車の両輪ともいうべきで  
しょう。  
卒業生は同窓会員とな  
り、北嶺会員となります。  
どんなに、あがいても北高  
出身者であり、母校は母校  
です。ひとがわがふるさと

### 同窓会の発展を願う

PTA副会長 望月道男



創立四十有五年、創設者  
望月軍四郎先生の「お、や  
けの為につくす云々」は、  
一万余の卒業生の心の糧と  
なっており、生きづいてい  
る、特にクラブ活動は全国  
的に、目をみはるものがあ  
ります。  
かく集立って行く社会で  
の各部門で、精一杯活動し  
ている現状は、PTAとし  
ても海に誇りにしている

と、決して良い戦争は出来  
ないと思う。近頃経営のた  
めの合議機関が設けられる  
傾向があるが、その様な機  
関は大企業ならともかく、  
中小企業ではかえって迅速  
な行動を阻害する事にな  
る。会社が急速に伸びる時  
は、必ず優れた独裁者がい  
るものであるともいわれ  
ている。而してその独裁者は「我  
以外皆師也」という心構え  
をもつ事が必要で、下から  
の進言に耳を貸さない抑圧  
者であってはいけないと思  
う。独裁者がしばしば経営  
を誤るのは、彼がそのような  
な抑圧者であったからだだ  
と思う。独断専行が意味をも  
つのは、それが経営機構の  
合理的な簡素化を意味する  
場合であると思う。  
作戦要務令は仕事の上で  
或は会社経営にあたり、心  
すべき数多くの示唆を含ん  
でいる。  
を思うのは、人間の道であ  
り、そこに人としての原点  
があると思えます。そこに  
自ら北嶺会の精神が継承さ  
れ、それを消す事は出来ま  
せん。又それを消してはな  
りません。かくしてOBの  
活性化は母校の発展の刺激  
となり、母校の発展はOB  
各自の心の発展につなが  
り、苦しい事があっても、  
それを乗り越える力ともな  
り得るわけです。  
そういう意味合いに於い  
て、同窓会の新たな質の転  
換が今求められつつあるの  
かも知れません。学校を取  
りまく、これらの組織が、  
こうした課題に直面してい  
るともいえます。  
私共PTA会員として  
も、微力ですがその努力と  
協力はおしません。  
伝統ある名門北高の同窓  
会の一層の強固な組織づく  
りと、会員皆様の益々のご  
健康と、ご活躍を祈って止  
みません。

# 五十六年度 総会経過

昭和五十六年度北嶺会総会が去る七月四日(日)午後二時より、宮町のサンパレス橋本に於いて開催された。次いで広報、組織、後援会三部の事業計画が、各部長より提案され、予算案が幹事長より出され審議の上、承認可決された。尚役員改選については、選挙委員五名の選考の結果次のように選出された。

来賓として吉田元校長、宇佐美校長、柏酒・伊藤両教頭、岩田事務長を迎え佐野(康)副幹事長の司会で始めた。

先ず菊池副会長の開会の挨拶、今村会長の挨拶があり、第一に事業報告を今村会

## 記念講演

元北高校長

吉田 廉 (当時富士宮市助役)



(これは去る七月四日の総会の席で行われた講演の要旨である)

### 教育問題

日本は農耕民族で騎馬民族に較べて、創造力が弱い。これからの日本は自ら創り出すべき時代に入った。その成否が日本の将来の運命を左右する。

これからの若者達は失敗を恐れてはならない。否失敗をさせて痛さを味わせ、痛さを背負って生き抜いてほしい。父親は子供から離れて、見守っていてほしいと思う。

### 富士宮市について

日本で一番美しい市は富士宮市だ。当市と地域住民とのつながりが薄い。コミュニケーションの密度を高める必要がある。社会教育の面では中堅層30代の教育が必要ではないかと思う。(文責在編者)

## 部活動状況報告 (6月30日現在)

部名	東部大会	県大会	東海四県大会(全国大会)
珠算部		国民珠算競技大会静岡県予選 団体...優勝 個人...1位 本山由美 2位 清あけみ 3位 保坂千登勢 全国高校珠算競技大会静岡県予選 団体...2位 個人...2位 清あけみ 3位 本山由美 4位 保坂千登勢	国民珠算競技大会 団体...優良賞(全国) (静岡県ソロバン県一賞受賞)
バトミントン部	団体...1位 個人...W...1位 4位 S...3位 4位 5位	団体...1位 個人...W...1位 S...3位 3位	団体...2位 個人...W...3位 鈴木渡辺
相撲部		全国大会県予選 団体戦...優勝	
庭球部	I・H 個人...W...2位 3位	I・H 個人...W...3位	個人...W...8位
弓道部	男子団体 個人 男子 女子 予選通過 県大会出場権 獲得	団体・個人とも予選落ち	
剣道部	I・H 女子団体 3位	I・H	(全日本新人体重別東海予選) 95kg級 1位 植松 (東海総体) 団体...予選リーグ 2位 個人...重量級出場
柔道部	柔道祭団体 2位 個人 3位 高野 I・H 中量級 3位 水口 軽重量級 1位 渡辺 重量級 1位 植松	I・H 団体...3位 個人重量級 2位 植松 中量級 3位 水口 (全日本新人体重別県予選) 95kg級 1位 植松 85kg級 3位 鈴木 78kg級 2位 渡辺	
水泳部	団体...3位 400M・R...1位 800M・R...2位 400MメドレーR...3位 個人 400M自由形 1位 200M自由形 1位 渡辺		
陸上部	団体...2位 1500M 1位 風岡 2位 佐野 3位 大森 1500M障害 1位 風岡 2位 佐野 5000M 1位 渡辺 2位 諏訪部 3位 土谷 棒高 1位 塩川 2位 佐野 3位	I・H 棒高 1位 土谷 1500M障害 2位 風岡 1500M 6位 佐野	棒高 1位 土谷

### 新役員 選任について

その後、十一月二十五日開催の三役員に於いて、副会長の増員、幹事の選出に就いて協議したが、今村会長の健康上の都合もあって、来春まで時間をかけて、選出することになったので御了承下さい。

### 富士宮、新支部 結成について

かねて課題となっていた地元富士宮支部の新しい結成については、当初十月に設立総会を目標にしていたが、いろいろの事情により暫時、先延ばしして戴きましたが、先延ばしして戴きまして御了承下さい。富士宮支部の組織強化が望まれている。

### インターハイに 優勝して

陸上部三年 土谷 公二

八月四日午後、南国鹿児島は真夏の太陽がキラキラと輝いていた。南東に桜島が望める鴨池競技場のバックスタンド前、棒高跳のピットでは、僕を含め三人のボルターが残って、五mのバーに挑戦しようとしていた。この前の高さで一度失敗している僕には、もう後がない。塩谷先生、上村マネージャーがスタンドで見守る中、ポールをワンク上げての、三年間の全てを賭けた挑戦だった。助走から突込みとスムーズに、ポールからいつもと違った手返しが伝わり、体が上昇していった。胸が僅かにバーに触れたが、僕は残っていた。夏の思い出を残して、夏は去ってしまいました。一生忘れないうちのあの感謝は今後さらに大きなものへと挑戦していき度いと思えます。

### 北嶺文芸

浅羽 緑子

紺富士の胸たちのほろ爽気かな  
風の道みな富士を指す花芒  
富士に根雪茸狩の声の上  
秋山 たけし  
挽きたての酸橋(かぼす)  
の背に憩ひけり  
山茶花や月日いぶせき写楽  
の絵  
おのくばば莊嚴ミサの露の  
世や  
井出 元一  
黄落や遊子たゞむ詩碑の  
まえ  
野辺山の色くれなむつ冬の  
月

履物の松葉屋  
遠藤 善 聖(県商三期卒)  
富士宮市西町一七番七号  
電話(055)二六一三九二二

森本歯科医院  
森本 正 敏(商四回卒)  
静岡県富士宮市西町五一七

富士写真フィルム指定業社  
(株)井上鉄工所  
井上修 一朗(工機六回卒)  
富士宮市貴船町六一三  
電話(055)二六一八三七三

土木建築用骨材  
沼久保砂利株式会社  
市野 智 洋(工機六回卒)  
富士宮市黒田九一〇一

米穀・燃料・プロパン  
藤野屋商店  
佐野 康 雄(商業十回卒)  
静岡県富士宮市西町六一三三  
電話(055)二六一三三八〇

メンズショップ学生専科  
(株)ワタヤ  
内藤 修 次(工機六回卒)  
富士宮市西町一六  
電話(055)二六一三九九九

富士宮市議会議員  
稲田圭佑  
(県四回卒)  
富士宮市貴船町十一一四  
電話(055)二七一一九九六

ゴム履物・作業用手袋・卸  
足袋屋商店  
石川 成 章(県四回卒)  
富士宮市西町十七一三三  
電話(055)二六一三三四

# 「和」と「厳しき」と

## 人物往来

代表取締役社長 岡村和郎 (第二回卒)



昔から西町に米屋の岡重ありと、よく耳にしたものだ。そのしにせの次男坊として和郎氏は生れた。

昭和18年大宮商業学校卒業後、軍隊生活や米穀卸をを経て、昭和28年宮町に石油店を開業した。

いる。年商は約四十億で従業員八十五名である。さて話は変わるが、十一月初め岡重から一通の封書が届いた。開いてみると挨拶状である。これ迄の話は別に何の変哲もない。然し書面によく目を通してみると、思わず笑まされた。これは、このたび岡村金治社長(現会長)の推薦により、和郎氏が社長を拝命したということだ。一般企業によく見られる権力の座を争う確執もなく、兄弟がお互いに助け合うという姿に羨望の念を禁じ得なかつた。新社長いわく、高度成長は終わった。安定成長に入った今、会社経営は如何にあるべきか、それが私に答案を求められた課題である。その時心なしか社長の顔に厳しきものが走つた。

終りに気が付いた事だがこの店の女子従業員は、客に対して愛想がよい、サービス業だから当たり前だといつてしまえばそれまでだが、従業員教育が徹底しているように受けとられた。

これも「和」のあらわれか空気が何となく明るいのだ。事業は人にあるという今後の発展を期待したい。

## 中学校OB紹介

富士根北中教頭

佐野 芳 (昭和二十六年度卒)



恩師澤美先生が教頭として母校に在職していた三年前、高校増設の社会情勢は、富士宮地区にも一校の新設を決定しました。

「岳南に人材を」と創立された北高も幾多の変遷を経て二十八年県立に移管され普通科商業科併設高校として、覇気、信念、明朗の下に教養を授けられた卒業生も一万一千人を越えその活躍が北嶺会だよりで紹介され心強く感じています。富士宮地区中学校で教鞭をとる同窓生も、すでに第一線を退ぞかれた先輩も数名おられますが現在二十名余を数え後輩の育成に頑張っております。

の適性は、やる気は……等々はさておいての高校選択は、必ずしも子供達の幸とは一致しません。北高の多様性(マト)がしぼられないとか体育運動面では認めるものの大学進学・就職の実績へのあきたらなさや新しいものへ走ることに伴う挫折感からの脱出、学歴偏重等々は大きな壁といえます。学歴尊重ならぬ偏重・学業(学力)偏見もこまごまとものだと思ふことしばしばです。

現在北高三年生で県大会は申すまでもなく、インターハイに団体で棒高跳で活躍し注目を集め、将来に嘱望されている土谷公二君は、中学校時代学業は優秀でありスポーツ面にも出場し、その素質は認められていました。彼の高校進学に對し、父母やその周辺は他の高校を望んだのですが、自身の棒高跳を伸ばしてくれは北高が一番適していると思っております。

## 五十六年度北嶺会費納入者名簿

- 藤原博・田中清・井出元一・渡辺柳一・内藤昇次・佐藤浩敏・佐々光男・原田三郎・秋山芳光・遠藤博・城内睦夫・佐藤嘉彦・佐野卓司・塩川嘉彦・杉山寿美雄・鈴木正己・若月啓二・佐野弥一ノ瀬志郎・菊池千秋(17)・牧野利夫・平井輝明・清水一男・吉塚公志・佐野忠男・辰野緑・小泉高雄・齊藤太郎・鈴木隆弘・佐藤幸雄・今村英・宇佐美倫・塩川栄一・望月久男・清忠幸・遠藤富夫・赤池淳・大村幸雄・加藤利彦・楠功・日原章・若月正敏・藤原義治・遠藤金一(18)・藤巻光男(19)・藤田季利・時田剛吉・清登・加納美・荒川昭一郎・岩間茂芳・木内正則・森本正敏(20)・佐野達作・佐藤弘・池野博(21)・渡辺英賢(22)・渡辺眞一(23)・諏訪部寿男・佐野彪・遠藤美・田中雄治・稲葉房徳・齊藤夫・小野武秀(25)・高野英夫・佐野靖・大石一郎(26)・保坂昭秀・小林栄・大石清一(27)・佐野康雄・声沢正己・深沢一元・馬飼野弘行・齊藤忠久(28)・柴田光俊(29)・渡辺千冬・渡辺一・上井庸光・持田勝康(30)・齊藤章・齊藤光浩・藤原一男・佐野政男・二又川泰秀

## 北嶺会々費納入依頼

- 一 同封振替用紙に住所、氏名、卒業年次を記入の上、郵便局へ払込んで下さい。
- 二 職場、地域、支部、同級会など、まとまった所は、名簿(卒業年次・氏名・住所)に会費をそえて直接、事務局(北高校内)にお持ち戴いても結構です。
- 三 会費は年間千円です。
- 四 納入期日は58年3月末日迄となっております。

<p>モードサロン 佐野良 雄(商五回卒) 富士宮市宮町九番四号 電話(055)二六四〇二九</p>	<p>音と光と電化のアシスタント 株式会社 マルビシ 佐々木宣弘(商三期卒) 富士宮市西町十七番五 電話(055)二七一三三〇</p>	<p>化粧品 ケイトー 本店(宮町) ☎26-3661 リドウ内 A Z (駅前) ☎23-1352 PLus 1 中央ピア内 ☎26-8852 望月 怜 (商三期卒)</p>	<p>靴・和装履 きのうち 木ノ内福一(商三期卒) 富士宮市大宮町一〇二 電話(055)二六三三九〇</p>	<p>藍澤證券株式会社富士支店 支店長 長谷川迪夫(商四回卒) 本社 静岡県富士市本町一丁目三番地 電話(055)六三三〇(二三番代) 東京都中央区日本橋一丁目二十番地 電話(03)二七四一(二六番代)</p>	<p>総合食品問屋 株式会社 マルゴ 小林信喜(商六期卒) 富士市田島六七一 電話(055)五三七八一一</p>	<p>洋品のおおき 荻 敏 雄(工五期卒) 富士宮市西町(市立図書館入口) 電話(055)二六二六六四</p>	<p>宅地・建物・山林取引 朝日出開発 井出元一(工二期卒) 富士宮市朝日町一〇一七 電話(055)二七一三〇五</p>
--	---	--	--	---	--	---	--

連載 北高のあゆみ (第三回)

我が北高の 思い日

元教諭 遠藤 茂樹



榎林の青春

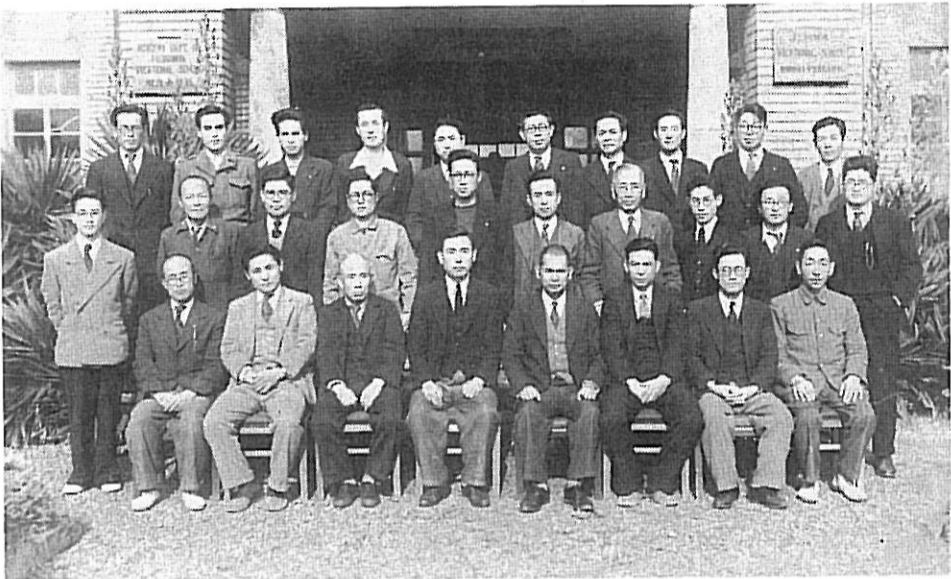
三週半で一里(四曲)になる敷地の外を、なにかといえよく走った。走っているさいちゅうに、時々大村市太郎先生の大喝一声、へこたれたと弱音をはけな

たる歴史と奇しくも同じである。私にしてみれば、よくここまで生きてこれたというのが実感であり、北高にすればよく今日まで隆々栄えて来たものだという事実であろう。

終戦後の思い出

終戦のお言葉は東側校庭で拝聴した。重大な放送があるという事で、皆集まっていた。焼けつくような日射しがキラキラと輝いている。生徒動員で川崎や平塚の軍事工場に行っていた五年生、四年生もすでに引揚

定して、教育本来の姿にもどってはいないが、世情の不安定無秩序は生徒達に強い影響を及ぼしていた。特にヒロポン(覚醒剤の一種)は少年達を早いスピードで



実業高校時の先生方(右より) 前列 米山雄次郎 一ノ瀬敬夫 山田貞藏 菅原隆次郎 秋山伸三(校長) 佐山雄祐 井出明 田中豊久 中列 牧田九郎 清文夫 川原崎延雄 土屋昌美 山中鉄也 野沢昭雄 林信一 中山美次 長島幸一 加藤幸一 後列 遠藤幸一 佐野栄満 加藤勲 長村政雄 武内一能 藤原茂樹 遠藤辰雄 前田武 遠藤喜芳

ようと思いを燃やしたものである。中学部には優秀な生徒がたくさん入学して来たから、生徒も教師もすごい張り切りようで、学校に対する世評は高かった。後

日を経つにつれて、厳しい指令が次々にくる。その対策や処置に追われるようになって、最早ぼんやり等していられない状況となる。一番困ったのは教科書が揃わない事、教科書の都合な部分を墨で消せという指令も来る。教科書によつては一頁の殆どを真黒に消すという、ひどいものもあって、前後の脈絡がつかない。黒の部分は教師が何とかつじつまを合わせた

はじめて女子が入学したのは二十六年だったと思

ご承知のように、戦後最大の出来事は学制の大改革である。六・三・三・四制のあとの三が二十五年の四月から発足した。商工学校から富士宮実業高等学校となり、加えて併設中学校を置いた。中学部の責任者は誠実な笹原先生、高等部は未熟な私という事に決まり、お互いに教育内容を充実して地域の期待にこたえ

は校内に花が咲いたような甘いムードを漂わせていた。ルーム主任は、いまは故人の若田英善先生で、主任もまた特選であった。 県立移管の前

困ったことに、この時期はインフレが早い速度で高進していた。家庭経済から学校経営のすべてが破産寸前の状況にあった。ことに学校は新設高校としての施設や設備を義務づけられていた。小手先の防衛策などでは、とても乗り切ること



野球部物語

元教諭 山中 鉄也 (現在星陵高教頭)

私が北高に在任した期間は、終戦の年すなわち昭和二十年の十月から、昭和二十五年三月までの約十五年間であります。赴任当時は戦時中の学校工場の残がいが校内のあちらこちらに見

られ、校舎も窓ガラスの割れや壁・床の油污れなどが目につき学園の雰囲気からはほど遠いものでした。 さて、北高時代の思い出

が開かれることになり、学校では職員、生徒一丸になつて参加を決意し乏しい食糧事情、満足な用具としてなき不利を克服して一回戦に臨みました。結果は清水商業にコールド負けの惨たるものでした。しかしこの苦い経験を土台に生徒達は年毎に実力をつけ、いつかは甲子園へと努力を続けました。その間、昭和三十一年待望の野球専用グラウンドが完成し練習に一層の熱が入りました。昭和三十三年四月、甲子園への夢はかなえられぬまま、富士宮実業高校へ転動いたしました。その後しばらくして一般有志の方や野球部OBの諸君の手で後援会が結成され、微力ながら会長の席を

上宮高校を四対三で破り、声を限りて校歌を歌った感激は記憶に新しいところで、私は後援会長として甲子園出場の手伝いをしながら、前回もさることながら、第二回目に北嶺会員皆さんの御後援、御声援に示された結集力の大きさにただただ感激・感謝申し上げるばかりであります。

編集後記

北高のあゆみも第三回で戦後に移った。終戦後の北高の様子は編集子には全く不明であるので、関係者の投稿、特に県立移管以後の写真を、お寄せ下さい。 県立移管直後の北高の上宮写真と県立移管直前の先生方の写真は川原崎延雄先生からお借りした。望月軍四郎の像は岩間茂芳さんの撮影による。市内の広告はいつものながら内藤修次さんの手をわづらわした。心から感謝したい。(井出)